

令和3年度事業報告

1. 概要

我が国においては、人口減少、少子高齢化が進行している中で地域の人手不足、地域活性化が大きな課題となり、特に高齢者の就業促進として、地域の高齢者が就業を通じて地域社会に貢献し、高齢者の生きがいや居場所づくりとして重要な役割を担っているシルバー人材センターにはこれまで以上に大きな期待が寄せられています。

これを受け当センターでは、地域の高齢者が長年培った豊かな経験と知識、技能を活かすことのできる就業機会を確保し提供することにより、健康の維持や増進を図り、加えて社会参加を促進することで活力ある地域社会づくりに寄与してきました。

当センターの運営には小郡市及び大刀洗町のご理解により、滞りなく事業を実施できるよう補助金を確保していただき、行政とも連携、協働しながら、地域が求めるニーズ及び高齢者の就労ニーズを満たす分野への就業開拓や、就業機会の創出を行いました。

このような中、令和3年度は新型コロナウイルス感染症が世界的に未だ猛威を振るっており、事業全体に多大な影響を与えました。

事業実績については、令和3年度は前年度対比1,212千円の減で157,035千円となりました。また、就業率（就業会員数／総会員数）については、未就業会員対策を進めたことで、前年度対比0.1ポイント増の94.4%となりました。

当センターは、新型コロナウイルスの影響克服に向け、公益性の重要性を十分に認識するとともに、地域社会と連携し事業の推進を積極的に展開してまいります。

事業実績結果

(1) 受託事業（一般）

会員の就業機会の確保及び更なる会員拡大を図るため、普及啓発部会を中心に市町の広報誌やホームページの活用その他、新たに“小郡商業ニュース”に会員募集記事を掲載し広報活動を行いました。その他、会員の希望や能力等に応じて公平に就業機会の提供を行うとともに、適正就業基準の推進、ローテーション就業などを進めました。

就業実績（派遣事業を含む）

項目	令和3年度	令和2年度	増減
年度末会員数	321名	331名	△10名
就業実人員	303名	312名	△9名
就業率	94.4%	94.3%	0.1ポイント
契約金額	157,035,430円	158,248,102円	△1,212,672円

(2) 受託事業（業務委託）

ア 小郡市高齢者社会活動支援センター管理業務

高齢者が持つ技能、技術、趣味及び特技を活かすことで、高齢者自身の生きがいを創

出するための拠点づくりとして設置された小郡市高齢者社会活動支援センターも16年目を迎えました。センターでは多目的ホールを利用して、感染症対策を十分に講じたうえで高齢者が若い母親の育児支援を行うための託児ルームを設置し、ご利用いただきました。また自主事業として、地域の方を対象にパソコン教室、しめ縄講習会を開催しました。

会館利用者数 (単位：名)

部屋名	多目的ホール	会議室	合計
令和3年度	4,558	5,067	9,625
令和2年度	2,297	1,143	3,440

イ ファミリー・サポート・センター事業

小郡市が行っている子育て支援事業のひとつである「ファミリー・サポート・センター」は、地域で子育てを支え合う会員制の相互援助活動です。その運営を開所当初からシルバー人材センターが委託されており、会員も支援員として、事業を円滑に進めるための運営に携わっています。

日に日に変わる新型コロナウイルス感染症対策の状況により、講習会の開催も儘ならず、今年度は4講座を中止せざるを得ませんでした。講習会が開催されないことは、協力会員の登録ができないことでもあり、お子さんを預かる協力会員の伸び悩みと現会員の高齢化により、事業運営に大きな影響をもたらしています。依頼会員と協力会員のアンバランスさは解決されず、喫緊の課題となっています。

活動に於いては、送迎のみや送迎を伴う預かりが増えており、交通安全の講習や年3回発行しているクローバー通信で、安全な預かり保育の周知を行いました。

<会員登録数>

<利用件数>

依頼会員	協力会員	両方会員	会員合計	預かり	送迎	利用合計
346名	70名	10名	426名	238名	293名	531名

(3) 独自事業

高齢者の就業機会拡大のため、会員の創意と工夫により、就業を創出する事業として、刃物研ぎ、エアコン清掃、パソコン教室、石焼きも販売、しめ縄販売、野菜販売、木工品販売の7つの独自事業を実施しました。

石焼きも販売事業では、全国的な収穫不足により生芋の仕入れが困難でしたが、仕入先を拡大し、個数を確保したため、多くの方に販売することができました。

おさらい教室では、新型コロナウイルス感染症拡大の影響の他、依頼講師の会員が大きく減少したため、教室の開催が困難となり、実施することができませんでした。

契約金額実績

(単位：円)

職種	令和3年度	令和2年度	増減
刃物研ぎ	1,202,730	1,242,350	△39,620
エアコン清掃	1,885,000	1,685,000	200,000
パソコン教室	343,210	326,020	17,190
石焼きいも販売	1,757,180	1,755,170	2,010
しめ縄販売	270,800	282,500	△11,700
おさらい教室	0	17,500	△17,500
野菜販売	154,180	149,290	4,890
木工品販売	524,905	505,595	19,310
合計	6,138,005	5,963,425	174,580

(4) 労働者派遣事業

福岡県シルバー人材センター連合会の労働者派遣事業の小郡大刀洗事務所として、臨時かつ短期的な就業または軽易な業務の範囲において、派遣労働を希望する会員を対象に、労働者派遣事業を実施しました。また、「労働者派遣事業の適正な運営の確保及び派遣労働者の保護等に関する法律」に基づき、福岡県シルバー人材センター連合会と連携し、入職時訓練及び1年訓練を実施しました。

派遣事業実績

	令和3年度	令和2年度	増減
受注件数	56件	59件	△3件
契約金額	36,123,740円	38,521,646円	△2,397,906円
手数料収入	2,169,104円	2,318,379円	△149,275円

(5) 普及啓発事業

シルバー事業の意義を社会に広く周知するとともに、高齢者の加入を促進するために次の取り組みを計画していましたが、新型コロナウイルス感染症予防対策のため大半の行事を中止せざるを得ませんでした。

ア 全国普及啓発促進月間の取り組み

- ・役職員、会員による街頭チラシ配布（中止）
- ・小郡市長、大刀洗町長への要望活動
- ・県道鳥栖朝倉線のボランティア清掃作業
- ・総合保健福祉センター「あすてらす」にてPR用DVDの放映

イ 広報活動

- ・会報「あすなろ」第58号、第59号を発行して全世帯に配付
- ・小郡市、大刀洗町の広報誌を活用したPR
- ・公共施設へのポスター掲示
- ・ホームページによる会員募集の動画掲載

- ・“小郡商業ニュース”に会員募集記事掲載
- ・会員募集チラシを会員に配布して知人友人を勧誘
- ・女性会員拡大の推進

ウ 地域交流活動

- ・地域の小学生を対象にした夏休みこども工作教室の開催（中止）
- ・大刀洗町ドリームまつりへの参加（中止）
- ・出張サロン交流会の実施

エ 社会参加活動

- ・宝満川一斉清掃（中止）・花火大会会場清掃（中止）・西鉄小郡駅前周辺清掃
- ・ひばりロードレースコース清掃（中止）・大刀洗町運動公園清掃除草（中止）

(6) 安全就業推進事業

ア 全体の状況

新型コロナウイルスの感染が収まらない中、令和2年度同様安全就業推進事業も多くの制限を受けました。まん延防止等重点措置期間中における安全パトロールの自粛や昨年度に続いての地区会議の中止で指導、啓発の場は狭められました。

昨年度中止とした安全就業促進大会は、広い会場を使用し、感染症対策を行い実施した結果130名が出席、コロナ禍前に比べ出席率は38%と大きく下がりましたが、会員の協力により無事に終えることができました。

イ 傷害事故、賠償事故

事故発生件数は過去5年間ふた桁と高止まりしており、“まずは前年度の半減”と毎年度設定し続けている事故削減数値目標は、令和3年度も達成できないままとなりました。現場の状況や作業手順の確認が全体的にまだまだ不足しています。

全事故11件のうち半数を小郡本所の刈払と剪定で占めており、両職群は重大事故に繋がる要素が多くあることから、更なる安全対策を強化して欲しいところです。

センターを挙げて取り組んでいる7月から10月までの無事故チャレンジ運動期間中に、7件もの事故が発生しました。会員の安全意識の向上が求められています。

また、令和3年度の事故の中には自分の都合を優先させ、基本的なことやマナーを守らないことから発生した事故が散見されました。そうした事例については事故報告書の提出だけでなく、罰則を適用することで反省を促すなどの対応も必要ではないか、ということで安全就業委員会において、令和4年度に検討していくこととなっております。

年度	傷害事故	賠償責任事故	交通事故(物損)	合計
令和3年度	4件	5件	2件	11件
令和2年度	4件	2件	4件	10件

ウ 安全就業委員会

5回開催した安全就業委員会では、多発した事故の検証と今後の対策について討議しました。当センターでは、まず事故が発生した職群・職域班にて自らで対策を考

えてもらうことを基本とし、委員会では出された対策が十分か他により確実な方法がないか再検討しています。安全パトロールは、屋外作業を中心に12回55現場を巡回しました。

令和3年度の刈払機安全操作講習会は、ほとんどの会員が刈払機取扱作業安全衛生教育を修了していることから、事故の原因は機械操作そのものより作業の段取りや状況判断にあると考え、グループ討議を中心として実施しました。

(7) 相談事業

ア 入会説明会・入会相談会の開催

シルバー人材センターに興味を持たれている高齢者のために、入会希望者説明会を、小郡市と大刀洗町でそれぞれ毎月2回開催しました。また、入会しようと思われた方には、その後入会申込者説明会を開催し、センター事業をよく理解したうえで会員登録をして頂きました。

入会希望者説明会実績

開催月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
参加者	4	1	4	3	2	2	5	5	10	3	3	9	51

イ 就業相談の実施

令和4年1月に会員を対象に就業相談日を設け、就業相談を行いました。また、地域の高齢者を対象に、来訪や電話による就業相談や入会促進を行いました。

(8) 研修・講習事業

就業に必要な基礎的な知識や技能を身に付け、会員のスキルアップを図るため講習会及び研修会の実施を計画しましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が発令されたことにより、大半を中止しました。また、新型コロナウイルス感染症対策を十分に講じて一部の研修会・講習会を実施することができました。

講習会実施状況

講習会名	内 容	参加人数
掃除講習	一般家庭の片付け	21
子育て支援講習	子どもの預かりと安全について	27
しめ縄づくり講習	しめ縄の作成	13
刈払機安全操作講習	刈払機操作の安全な取扱い	13
合 計		74